

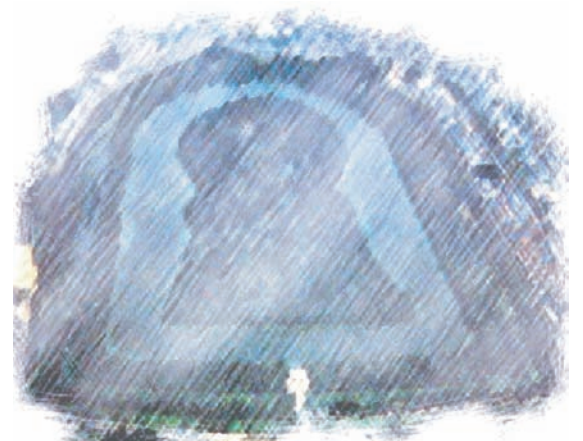
日本大学文理学部

史学科

Department of History



複雑化した世界を考えていくためには、
幅広い視野を持つことが必要である。



史学科で何を学ぶのか



高校までの歴史とここが違う

みなさんが普段勉強に使っている教科書などに書かれている過去の出来事は何を証拠にしているのか考えてみたことはありますか？

大学で学ぶ歴史では、まず過去に起きた出来事を**証明する**ことから始まります。

歴史学は「科学」

科学は、物理や化学のような理科系だけを指す言葉ではありません。文学や歴史などは、**人文科学**と呼ばれる科学です。数学や理科でいろいろな現象を証明することと同じように、歴史では当時の手紙や記録などを使って**過去の出来事を証明**していきます。

歴史の主人公は何か

歴史といえば、宇宙の歴史や地球の歴史など、さまざまな分野で使われている言葉です。しかし、大学で学ぶ歴史は、**人間が関わる歴史**です。つまり、歴史学で扱う歴史とは、**人間が登場してから後の時代**を扱うということです。

なぜ歴史を学ぶのか

過去の出来事を知る。歴史学の目的はそれだけではありません。世界は常に変化し、そしてそのスピードは時代を経るごとに速くなっています。現代は国際社会の時代といわれますが、わたしたちは何を考え、どう生きていけばよいのでしょうか。国際社会で生きるためには、**時間をかけて作り上げてきた人々の生活や、多くの文化を理解する視野**が必要です。そのために歴史を学び、過去の人たちの考え方を学ぶことが重要になるのです。

史学科 学科専門科目

入門科目 (選択必修) A群 ① 日本史入門 ① 東洋史入門 ① 西洋史入門 ① 考古学入門	基礎実習科目 (選択必修) D群 ② 日本史基礎実習1・2 ② 東洋史基礎実習1・2 ② 西洋史基礎実習1・2 ② 考古学基礎実習1・2	選択科目 (選択必修) G群 ②③④ 日本史料研究1～4 ②③④ 古文書・古記録学1～4 ②③④ 東洋史料研究1～4 ②③④ 東洋史文献研究1～8 ②③④ 西洋史料研究1～4 ②③④ 西洋史文献研究1～8 ②③④ 考古学方法論1～4
概説科目 (選択必修) B群 ① 日本史概説1・2 ① 東洋史概説1・2 ① 西洋史概説1・2 ① 日本考古学概説1・2 ① 外国考古学概説1・2	研究実習科目 (選択必修) E群 ③④ 日本史研究実習1・2 ③④ 東洋史研究実習1・2 ③④ 西洋史研究実習1・2 ③④ 考古学研究実習1・2	その他 (選択) ②③④ 考古学実地研究1・2 ②③④ 遺跡解題1・2 ②③④ 歴史民俗学1・2 ②③④ 文化財学1・2
概論科目 (必修) ① 史学概論1・2 ① 歴史学入門ゼミナール	ゼミナール1・2 (選択必修) F群 ③ 日本史ゼミナール1・2 ③ 東洋史ゼミナール1・2 ③ 西洋史ゼミナール1・2 ③ 考古学ゼミナール1・2 ③ 文化財ゼミナール1・2	卒業論文 (必修) ④ 卒業論文
特講科目 (選択必修) C群 ②③④ 日本史特講1～8 ②③④ 東洋史特講1～8 ②③④ 西洋史特講1～8 ②③④ 考古学特講1～8	ゼミナール3・4 (選択必修) F群 ④ 日本史ゼミナール3・4 ④ 東洋史ゼミナール3・4 ④ 西洋史ゼミナール3・4 ④ 考古学ゼミナール3・4 ④ 文化財ゼミナール3・4	

※科目名などは変更される場合があります。
 ※○の中の数字は履修年次を示します。

史学科の専門科目のほとんどは「選択必修」科目です。
 研究したい分野を中心に、関連分野を組み合わせる授業を選択していきます。

1年	史学概論(必修)：歴史学の大切な理論を学びます。 歴史学入門ゼミナール(必修)：大学・史学科で学ぶための、学習技法の基礎を身につけます。 入門(A群)：歴史研究のポイントなどを学びます。 概説(B群)：新しい研究成果をふまえた講義が中心となります。
2年	基礎実習(D群)：専門分野の史料収集法などを学びます。 ※史料の輪読や発表が中心になります。
3・4年	ゼミナール(F群)：卒業論文に向け、高度な技術を学びます。 ※同じ先生のもとで2年連続学びます。 研究実習(E群)：基礎実習・ゼミナールと同様、発表中心の授業となります。
2～4年	特講(C群)：教員が得意とする分野について講義します。 選択(G群)：古文書や外国語史料の読み方、土器や石器などの取り扱い方について学びます。 その他：実際の発掘調査や、民俗学・文化財などについて学びます。 ※「その他」科目の履修は自由です。

注) 年次指定科目を修得しなかった場合、選択必修科目を配当年次に履修できないことがあります。

ゼミナール分野紹介

日本史分野

日本史分野は、古代史・中世史・近世史・近現代史にわかれています。おおむね平安時代までを古代、鎌倉～戦国時代までを中世、織豊～江戸時代までを近世、明治時代以降を近現代と時代区分し、各時代に一人ずつ専任教員が置かれ、授業を担当しています。

本分野では、古文書（当時の公文書や手紙）や古記録（日記や諸記録類）、国内外の新聞などの資料を通して、歴史を見る目を養っていきます。

日本古代史 教授 中村 順昭



日本の古代史、奈良・平安時代といわれる時期を研究しています。特に正倉院文書や平城京をはじめ、全国各地から出土する木簡などを素材にして、律令という法律に規定された古代の政治の仕組みと社会のあり方を考えていきます。

日本近世史 教授 上保 國良



日本近世史専攻で、講義科目では、「歴史学」・「日本史料研究」・「日本史概説」などを担当しています。日本生活文化史学会に属し、江戸市井の流行事や和菓子の歴史、そして、「小京都」・「小江戸」などにも興味を持ち、日々歴史散策をしています。

日本中世史 教授 関 幸彦



人間と時代の相互のかかわりを、中世に射程をすえ考えます。10c～15cの政治史や制度史、あるいは思想史も視野にいれ勉強してゆきます。平安・鎌倉・室町の各時代は内乱と戦争の時代でもありました。日本という国の歴史的原形質のつくられ方を皆さんと一緒に考えてゆこうと思います。伝説・伝承など文学的世界も対象です。

日本近現代史 教授 古川 隆久



専攻は日本近現代史で、政治や、政治と文化の関係などについて昭和史を中心に研究しています。歴史は人類の知恵の宝庫です。意欲を持って取り組めば、得られることは少なくありません。ぜひ一緒に学びましょう。

東洋史分野

東洋史分野は、主に西アジア・イスラーム史、西アジアを除く前近代アジア史、東アジア近現代史にわかれ、3名の専任教員が担当しています。全アジアを対象にした授業となっており、視点は中国大陸だけにとどまっていません。東洋史、主に中国史を学ぶ上で漢文や中国語文献の解読は必須です。漢文習得については、無理なく読解力をつけられるよう、初心者にも配慮されたプログラムになっています。

東・北・中央アジア史教授 加藤 直人



私の本学科での担当は「東洋史」で、14世紀以後から19世紀までの中国、東北・北・中央アジアの歴史を受け持っています。本学の「東洋史」は、イスラーム地域、インドなどの南アジアや東南アジアを含む広大な地域をその対象としています。

東アジア近現代史教授 松重 充浩



まさしく「世界史」的な相互連関・相互変容の中で展開した東アジア（中国、朝鮮、モンゴル、東シベリア、等）の近現代史は、国際化時代の直中にある今日、多くの大切な知見を提供してくれる研究分野です。皆さんと一緒に、この興味あふれるテーマを学べることを楽しみにしています。

西アジア・トルコ史 准教授 粕谷 元



専攻はトルコ近現代史で、トルコの近現代を主に宗教と民族の面から研究しています。ゼミでは、西南アジア史、イスラーム史を担当しています。日本人があまり知らない世界の歴史ですが、それだけに学ぶことで世界認識が変わるような、知的刺激に満ちた研究分野です。

注) 平成23年4月1日現在の史学科専任教職員です。

西洋史分野

西洋史分野は、大きく前近代と近代にわかれ、3名の専任教員が担当しています。

西洋史分野で扱う地域は、ヨーロッパ・アメリカが中心となりますが、方法によっては他地域の研究も可能です。外国史の特色は、外国語を使って研究するという点でしょう。学びたい地域の言語で書かれたものを使えば、研究は何倍にもふくらんでいきます。「文献研究」や「史料研究」やゼミナールで外国史料・文献の読解力を養います。



西洋古代史 教授 坂口 明

西洋古代史、特に帝政期のローマ社会について研究しています。歴史学のおもしろさは、残された材料（史料）から過去の世界を自分で再構築するところであり、そのためには語学をはじめとする様々な能力が必要です。これらの条件をクリアして、タイム・トリップに参加する意欲のある人を歓迎します。



西洋近現代史 教授 土屋 好古

専門は近代ロシア史。ゼミでは中東欧近現代史を学ぶ学生たちと一緒に勉強しています。大学における勉学は、「自分の頭で考え、それを的確に表現する」力を養うことを目的としています。高校生のうちに、多くの本を読んで読解し考える力を鍛えてください。

考古学分野

考古学分野は、特殊な技術が必要とします。文字資料を使う

史学とは異なり、土の中から出てきた土器や石器などを使って研究するからです。文字に現れない生活の復元。これが考古学の醍醐味ではないでしょうか。日本大学文理学部史学科では、主に日本考古学・東アジア考古学を対象としていますが、特講科目には西アジア考古学を学ぶ授業も開講されています。



日本考古学 教授 浜田 晋介

縄文時代・弥生時代・古墳時代について研究しています。遺跡や出土品から、各時代の生活や社会がどのようなものだったと推測できるのか。土器や石器などの資料に、歴史を語らせるのは我々の仕事です。ぜひ一緒に考古学を学びましょう。

文化財分野

ゼミナールでは、日本史・東洋史・西洋史・考古学の

4分野のほか、歴史遺産である「文化財」を学ぶ分野が設けられています。日本の文化財を対象に、その保存と活用について専門知識の習得を目指しています。ゼミナール以外では「文化財学1」「文化財学2」で文化財の在り方などが講義されています。



東アジア考古学 准教授 山本 孝文

日本・韓国・中国を中心とした東アジアの考古学を専門としています。古代日本文化を理解するためには、近隣地域の文化と当時の国際交流に関する知識が必要です。考古資料から躍動的な歴史を復元する面白さを体験して下さい。



文化財学 教授 大塚 英明

文化財学・歴史資料学について研究しています。文化財行政に長く関わっていました経験を活かして授業を進めたいと思っています。文化財は国民の共有財産でもあり、歴史資料は歴史を学ぶ上で不可欠のものです。関心があり、意欲のある人と共に学び、語り合いたいと思っています。

研究室 スタッフ

助教は、学生の履修に関する指導や、学生生活の相談への対応などを行っています。受験生の方々のご相談にも随時対応していますので、ご質問などがございましたらお問い合わせください。

助手Bは、研究室で様々な事務手続きをしています。



助教 高草木 邦人（ルーマニア史）

助教 町田 祐一（日本近現代史）

助手B 中村 真奈美

助手B 藤野 絵美

助手B 大岡 涼子

助手B 天野 頌子

Q&A

必修科目は何？

史学概論と歴史学入門ゼミナールです。それ以外は自分の研究分野に合わせて選択できるように柔軟性を持たせています。

史学科を卒業するには何単位必要？

4年間で124単位の修得で卒業することができます。なお、124単位のうち、史学科専門科目に必要な単位数は64単位ですが、残りの60単位は総合教育科目、外国語科目、健康・スポーツ教育科目、自由選択科目などから選択して満たすことになります。

研究分野はいつ決める？

1年次終了時に分野を決め、基礎実習（2年次）、ゼミナール（3・4年次）を受講します。具体的なテーマは2年次から3年次にかけて絞っていきます。

外国語・発掘に自信が持てない

はじめから漢文や外国語をスラスラ読んだり、上手に発掘できる人はいません。2年・3年・4年と段階を踏んで実力を付けられます。

就職は厳しい？

就職希望者の多くが一般企業に就職し、中には文化財関係や教員など専門性を活かした職場に勤める人もいます。早めの就職活動がポイントです。

複数の免許・資格を取得するのは可能？

教員免許、学芸員資格、司書・司書教諭資格を取得するためには、史学科を卒業するために必要な単位の他に、免許・資格を得るために必要な授業を、いくつも受けなければなりません。ですので、努力次第で複数の免許・資格を取得することは可能ですが、4年間であまり多くの免許資格を取得するのは困難です。

卒業後の進路

免許・資格

史学科では、次の免許・資格を取得することができます。

- 中学校教諭一種免許（社会科）
- 高等学校教諭一種免許（地理歴史科）
- 学芸員資格
- 司書、司書教諭資格

※史学科を卒業するために必要な単位の他に、免許・資格を得るために必要な授業を受ける必要があります。

卒業生の就職先

史学科の卒業生はさまざまな分野で活躍しています。

主な就職先

■ 企業

飛鳥建設、大塚商会、トーハン、東京ゼロックス、ソフトバンクBB、
デーリー東北新聞社、東京急行電鉄、東武鉄道、東日本旅客鉄道、
西日本旅客鉄道、北海道国際航空、佐川急便、アシックス、クボタ、
JTB首都圏、読売旅行、イトーヨーカ堂、高島屋、そごう、デニーズジャパン、
日本マクドナルド、日本ハム、タマホーム、ティファニーアンドカンパニー、
ルイ・ヴィトン・ジャパン、ゆうちょ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、
武蔵野銀行、山梨中央銀行、みずほファイナンシャルグループ、第一生命保険、
共栄火災海上保険、中央出版、日能研……………など

■ 公務員

経済産業省、総務省、財務省東京税関、財務省関東財務局、
厚生労働省社会保険庁、岩手県庁、群馬県庁、世田谷区役所、宇都宮市役所、
東大和市役所、八王子市役所、西東京市役所、川崎市教育委員会、
長野県教育委員会、神奈川県警察本部、警視庁、埼玉県警本部……………など

■ 教育・研究機関 ※非常勤を含みます

日本大学、伊勢崎市立三郷小学校、星陵高等学校、日本大学櫻丘高等学校、
日本大学鶴ヶ丘高等学校、日本大学藤沢高等学校、橘学苑中学校・高等学校

■ 専門職

日本銀行金融研究所貨幣博物館、秋田県埋蔵文化財センター、
鉢形城歴史館・寄居町埋蔵文化財センター、江戸川区松江図書館

大学院（史学専攻）への道

史学科を卒業したあと、より専門性を深めるために大学院へ進む道もあります。

大学院は、前期課程（2年）と後期課程が（3年）があり、前期課程として史学専攻がおかれています。前期課程を修了すると「修士」の学位が授与されます。なお、後期課程は、日本史専攻と外国史専攻にわかれます。

また、前期課程を修了することで、教員免許「専修免許」を取得することもできます※。

※学部で一種免許を取得していない場合、学部の教職コースを受講し、一種免許を取得する必要があります。

日本大学文理学部史学科

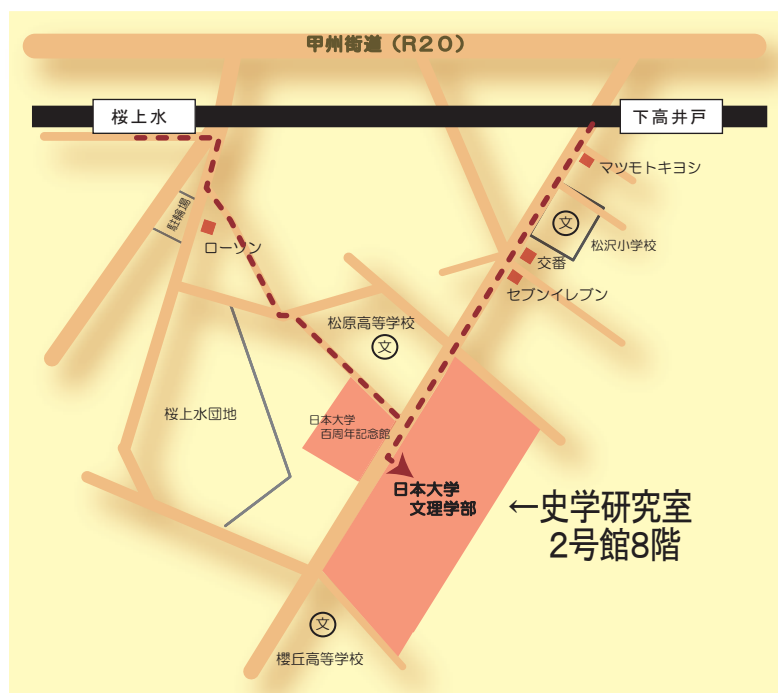
〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40

TEL 03-5317-9703(直通)

FAX 03-5317-9218(直通)

E-mail inf_hist@chs.nihon-u.ac.jp

URL http://www.chs.nihon-u.ac.jp/hist_dpt



●交通

京王電鉄・東急世田谷線
京王電鉄

下高井戸駅下車 徒歩10分
桜上水駅下車 徒歩10分